俳諧

年　組　番

得点　／30

問一　次の語の読みを現代仮名遣いを用いて平仮名で書きなさい。

①烏（　　）　②枯野（　　）　③五月雨（　　）

④牡丹（　　）　⑤膳（　　）　⑥栖（　　）

問二　次の傍線部の意味を答えなさい。

①山路来て何やらゆかしすみれ草　（　　）

②春の海ひねもすのたりのたりかな　（　　）

③有明や浅間の霧が膳をはふ　（　　）

④これがまあつひの栖か雪五尺　（　　）

問三　次の傍線部の用言の活用の種類と活用形を答えなさい。

	活用の種類	活用形
①山路来て何やらゆかしすみれ草	（　　）	（　　）
②有明や浅間の霧が膳をはふ	（　　）	（　　）
③痩せ蛙まけるな一茶これにあり	（　　）	（　　）

問四　次の句の季語と季節、切れ字を答えなさい。

	季語	季節	切れ字
①五月雨や大河を前に家二軒	（　　）	（　　）	（　　）
②有明や浅間の霧が膳をはふ	（　　）	（　　）	（　　）
③これがまあつひの栖か雪五尺	（　　）	（　　）	（　　）

俳諧

☆解答例と配点

問一　①からす　②かれの　③さみだれ　④ぼたん　⑤ぜん　⑥すみか　〈１点×６〉

問二　①心がひかれる　②一日中　③有明の月　④（人生の）最後のすまい　〈３点×４〉

問三　①カ行変格活用・連用形　②ハ行四段活用・終止形
③カ行下二段活用・連体形　〈２点×３〉

問四　①五月雨・夏・や　②霧・秋・や　③雪・冬・か　（各完全答）〈２点×３〉

（計30点）